

陳 情 書

件 名

三鷹市私立幼稚園児に対する
支援制度充実の陳情

陳	情
第 3	号



三鷹市議会議長

伊藤 俊明 様

件名：三鷹市私立幼稚園児に対する支援制度充実の陳情

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より三鷹市の教育・保育行政にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年の保育政策の充実により、保育園児には給食の無償化や手厚い支援が進む一方で、幼稚園児には同様の恩恵がほとんどなく、制度上の格差が広がっている現状に強い懸念を抱いております。つきましては、以下の３点について、三鷹市における制度の改善・充実をご検討いただきたく、ここに陳情申し上げます。

陳情項目

1. 幼稚園児への給食無償化の導入
2. 預かり保育補助金の増額
3. 特別支援体制の充実（療育機能の強化と民間施設との連携）

以上、子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減と、すべての子どもたちが健やかに成長できる環境の整備に向けて、何卒ご理解とご高配を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

【添付資料】

- ・陳情内容詳細（別紙）

※三鷹市私立幼稚園 PTA 連合会 加盟 15 園

鶏鳴幼稚園 春清学苑幼稚園 長久寺学園幼稚園 フィッシャー幼稚園 三鷹小鳩幼稚園
三鷹杉の子幼稚園 三鷹台幼稚園 三鷹中原幼稚園 三鷹のぞみ幼稚園 三鷹双葉幼稚園
三鷹みずほ幼稚園 三鷹若葉幼稚園 明星台幼稚園 牟礼幼稚園 明泉幼稚園

令和 7 年 11 月 5 日

提出者

三鷹市私立幼稚園 PTA 連合会

代 表

榛澤 亜紀子 印

住 所

三鷹市

電 話

(陳情内容詳細)

園児への給食無償化の導入

近年の保育政策の充実により、保育園児には給食の無償化や手厚い支援が進む一方で、幼稚園児に対する支援は限定的であり、制度上の格差が広がっている現状に懸念を抱いております。特に、令和7年9月より東京都が第一子の保育料無償化を開始したことにより、保育園と幼稚園の間で経済的負担の差がさらに顕著になっております。

また、小学生には既に給食の無償化が実施されているにもかかわらず、幼稚園児のみが給食費を負担し続けている現状は、子育て世帯にとって大きな不公平感を生んでおります。幼稚園児もまた、成長期において栄養バランスの取れた食事が必要であり、教育の一環としての給食の重要性は保育園や小学校と何ら変わるものではありません。

従来、保育園は「働く親のための施設」とされてきましたが、ご存じのように現在では幼稚園の保護者の多くも就労しております。実際、世田谷区では令和7年9月より幼稚園児への給食無償化が始まりました。つきましては、三鷹市におかれましても、幼稚園児への給食無償化の導入をご検討いただきたく、ここに要望申し上げます。子育て世帯の経済的負担軽減と、すべての子どもたちが平等に健やかな成長を遂げられる環境づくりのため、何卒ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

預かり保育補助金の増額

幼稚園に通わせながら、「新2号認定」を受けて預かり保育を利用する場合、夏休みや冬休みなどの長期休暇期間において、預かり保育料が大幅に増加し、家計への負担が非常に大きくなっております。令和7年9月より東京都では「第一子も無償化」との施策が開始され、保育園児に対する支援がさらに充実する一方で、幼稚園児との間に支援の格差が広がっている現状に、強い不公平感を抱いております。

保育の必要性は、保育園児と幼稚園児の間で本質的に差はなく、特に共働き家庭においては、預かり保育の充実と経済的支援が不可欠です。お隣の調布市ではすでに預かり保育の補助金が日額900円へと倍増され、保護者の負担軽減に向けた取り組みが進められております。つきましては、三鷹市におかれましても、幼稚園児の預かり保育に対する支援制度の拡充、または長期休暇中の保育料補助など、保護者の負担軽減に向けた施策をご検討いただきたく、切にお願い申し上げます。

子育て世代が安心して働き、子どもたちが健やかに育つ環境づくりのため、何卒ご理解とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

特別支援体制の充実

特別支援、療育に関する保護者からの不満が多く寄せられております。三鷹市においては発達支援センターの「たかのこ」にて相談が可能です。支援体制の充実にはなお課題が残されていると感じております。「保護者と一緒に考える支援」「保護者の意思や家庭の状況を尊重する」姿勢にも一定の理解もできますが、かつてハビネスセンターに療育部門があった頃には、言語や情緒など専門的な相談が可能であり、保護者にとって大きな支えとなっておりました。現在では相談機関の紹介すら受けられないケースもあり、支援を必要とする家庭が孤立する状況が生じております。一人親家庭や共働き家庭の増加、核家族化の進行など、地域社会の変化に伴い、支援が必要な子どもを抱えながら、保護者の力のみで最適な療育に速やかにたどり着くのは極めて困難です。実際に「支援してもらえない」「プログラムが足りない」などの声が複数寄せられています。

例えば、武蔵野市では民間の療育施設との連携が進んでおり、どこでどのような専門的な療育が受けられるかが整理され、スムーズに療育につながる体制が構築されています。

三鷹市におかれましても、支援センターの療育機能の充実はもとより、民間療育機関との連携を強化し、保護者が負担なくスムーズに安心して療育へとつながれる「伴走してくれる支援」の体制整備をお願いします。それが何より、支援を必要とする子どもたちの健やかな成長と、保護者の安心につながるものと考えております。